

問15 「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりに関するご意見等を自由にご記入ください。

※回答原文から字句の表記を一部修正して公表しています。

コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりについて

早期実現を期待しています。

地域よっての格差がないように進めて欲しい。

今後は日本全体で生産能力は低下し続けるため、街づくりも合理化が必須になると思います。過疎地域にお金を掛けるより、コンパクトプラスネットワークの考え方をもっと強く打ち出して、倉敷駅、児島駅、新倉敷駅を中心に機能を集約し、不便な地域からの引っ越しを促す方が市の発展に繋がると思います。

良いことですが、集中は出来ません。緑のある広々とした街づくりを希望します。1か所に集中するのはよくありません。理想と現実は違いますね。

都市機能と居住機能は相反する空間が生まれる。そこでは所有者・利用者が地域への義務をどのように考えるかが鍵であるが、日本ではそのような態度が薄いので、コミュニティが内部崩壊するか、機能が阻害される。コンパクト・プラス・ネットワークはコミュニティへの貢献が前提である。倉敷の計画ではそのようなまちづくりを進めていく具体的な政策が読み取れない。

地球温暖化(気候変動)による影響が災害と言う形で顕著になってきているように思われる。暮らしを変えない範囲でコンパクトな生活様式へのシフトも必要なのかと感じています。幸い今居住している地域は、交通の便も病院施設へのアクセスも良いと思います。周りの環境が現状であれば、住み続けたいと思います。

渦巻の真ん中に色々な施設を置いてバスが人を外から内に運ぶとか想像してみました。

1. 農地等の規制なく宅地(アパート、マンション、借家)化が進み入居者の出入り、空き家化が急速に進んでいる将来像を示し建造物許可規制を図らないと絵にかいた餅になってしまう。
2. 地区ごとのコンパクトシティイメージを具体的に示し土地活用の規制を掛けないと益々環境、防犯が悪化してしまう。人口は増えないのに宅地化だけが急速に進んでおりその分空き家が多くなっている。

玉島地区に暮らしています。一人暮らしの87歳女性です。古い町なので、徒歩10分以内で玉島支所、銀行、郵便局、スーパー、ドラッグストア、病院へ行けます。ただ、最近本屋さんがなくなり、寂しく思っています。図書館は15分かかります。今のところ、車、自転車にも乗れますが、それらを使用できなくなるのは、時間の問題と思っています。「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりは大賛成です。

広く意見を聴いて進めてください。

計画では、都市機能や住居を誘導するとあるが、転居に伴う費用負担(引っ越し代や住宅建築費)は、行政が負担してくれるのか?対応できない人や、誘導外地域を置き去りにしてしまうことはないのか?

今現在、居住している人を動かす事は無理に近いので早めに居住区等を分けて指定する必要がある。未だに郊外の田んぼ等がドンドンと宅地に変わり緑がなくなるのはおかしい。郊外密集型になって来ている。

腰砕けにならないようしっかりした計画を、社会経済自然環境等を踏まえて

介護保険立案理念の住み慣れた地域で家庭で過ごせるよう、社会福祉の充実 高齢者と障がい者の介護に違いがある事を行政が認識しこれらが組み込まれた、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりの検討が進むことを希望し、この検討会議等に障がい者の意見が組み込まれるような進め方がほしい。

各種サービスを、利用する側も提供する側も、コンパクトにまとまった中ならスムーズだろうと感じる。反面、やはり住み慣れた土地や家屋から離れるには、相当な理由が必要であると感じる。一代で取得した物ならまだしも、相続で引き継いだ物は余計に、単独の判断で手放せる物ではないと感じている。

計画を読むと便利そうですが、実際、人によって価値観はバラバラで、何が必要かは各個人によるので選択できる多様な生活環境も必要だと思います。その上で、多様性に対処できるフレキシブルなまちづくりの方向も一方では考えて欲しいと思います。

素晴らしいと思いますが、持ち家がある、無いに関係なく身近な問題だとは、感じられません。将来の事を考えると必要な事だと思いますが、もっと身近な問題もあります。例えば今住んでいる所(敷地内以外)での問題、自然に生えてしまった樹木が知らない間に大きくなり、困っているとか、小さい事ですが困っている事を、解決していただける方が有難いと思います。町内単位とかで困りごとを聞き、解決して頂ける方が良いです。

<p>長閑な場所で暮らすには病院や店舗が近くにない場合が多い。都市型中心では田舎の良さが薄れる。老後を安心して暮らすにはお医者さんなどが気楽に往診してくれる暮らしがしたい。</p>
<p>老後のまちなかに行く行動は、費用面と体力面で大変だと思う。中心部の人が良いだけで、田舎は今より便利悪くなりそう。</p>
<p>理想ではあるが、買い物難民、医療難民になっていても、住み慣れた自宅を離れられない人がいる。</p>
<p>今後高齢社会がますます進むための、高齢者にやさしい安心なまちづくりが必要。そのためにはバリアフリーはもちろんユニバーサルデザインの導入を積極的に行う。デジタル社会においても高齢者に取り扱いやすい案内や導線を確保する。</p>
<p>ポツンと一軒家の番組をみてこの狭い国でもコンパクトシティは考えていく問題と思った</p>
<p>現在は、団塊の世代という大きなボリュームの者たちのために、大きく拡張した日本の都市を縮小していく段階なのだと思っています。小さくまとまって暮らしていくという大方針には賛成です。</p>
<p>密集することなく暮らせて、尚且つ、極端な転居を強くないのが理想的。それでいて、徒歩か公共交通機関で無理なく動脈となる交通機関に繋がるようにする。「暮らし」という面では自家用車に頼らない生活が選択しやすいようになってくれると嬉しい。</p>
<p>誘導はいいが、強制にならないように。</p>
<p>農業も含めた計画にしてほしい。水利権など昔を知っていないと継続できない。従前の団地化のようなことはしてほしくない。デマンドタクシーのような高齢者にもやさしい行政をお願いしたい。</p>
<p>大いに進めて頂きたいと思います。</p>
<p>もう70歳を過ぎた人間です。「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりが出来上がるのは、何年先ですか？あまり興味はありません。</p>
<p>とてもいいと思う。</p>
<p>交通の便、特にバスの便数があまりにもないので、もっと整備して欲しい。田舎に居ては、生活出来ません。</p>
<p>設定エリアの範囲(人口数・面積・小字・中学校区等)が、具体的に示されていないので意見できません。</p>
<p>詳しくわからない。</p>
<p>「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりと、実態との乖離が大きいように思う。</p>
<p>近年は車社会になっているので、買い物も郊外のショッピングセンターに行くことが多くなり、昔のような駅近の賑わいがなくなってしまっているのが、とても寂しいです。商店街はシャッターが閉まり、人の流れが変わっています。東京都が実施しているように、高齢者には一定金額で一年間乗り放題のフリーパスを導入するのも一つの案だと感じています。</p>
<p>無理の無いところで風通しよく</p>
<p>夫婦二人で子供にも頼らず安心して暮らせる場所が欲しい。</p>
<p>誰もが不安のない生活が送れ、心豊かに暮らせることが理想であり、そうでないといけないと思います。しかし、格差が生まれて、希望が持てなくなった方も多いというのが現実なのは悲しいですね。出来るだけ、みんなが生活し易く、楽しめる倉敷市にしてください、よろしくお願いします。</p>
<p>今後、高齢が増える事を見据えてできるだけ、車がなくても買い物とか病院等に負担無く行ける町づくりが、理想です。</p>
<p>生活(買い物や医療機関、交通アクセスなど)が便利で防災面で安全で安心して暮らせるまちに住めることが理想ですが地域によってなかなか難しい気がします。駅前の土地開発事業は立地場所がかなり便利で実現できたと思います。地域の問題点を住んでいる人の声を反映して、優先順位をしっかりと判断して、偏りなく進めてほしいと願います。</p>
<p>理想は緑豊かな土地ですが、現実には車を運転することができなくなったとき、どうするか。実際、今でも、バスの停留所は近いけれど便がない、という状況です。けれど、住み慣れた場所を離れたくない。難しいところです。</p>
<p>いいまちづくりだと思う。私は駅まで徒歩10分、自転車で5分、駅行のバス停まで徒歩2分のところに住んでいるが、荷物のことを考えて駅まで行くのに車を使う。でも休日は駐車料金が高いのと、駐車場に空きがあるから心配で自転車を使う。倉敷も都会並みに駐車料金を上げたら公共交通使うかも。つらいけど…。バスの停留所をたくさんつくって、車に乗れない年配の方が歩く距離を短くしないと、バスは使えないと思う。</p>
<p>人はそれぞれの理由があってそのそれぞれの地に住んでいます。住む地を選ぶ基本的人権を無視するようなしかもそれを行政の力で無理矢理引きはがすような乱暴な事はしないでもらいたい。</p>
<p>高齢者が無理なく暮らしていけるまちづくりが、どんな年齢の人も暮らしやすい町だと思います。</p>

<p>高齢になったので、車が無くても生活出来る所に引っ越しをして良かったと思っています。この計画を進めてほしいです。</p>
<p>とにかくやってみないと始まらないと思う。いざやると想定外の問題もたくさんでてくると思う。そこも都度クリアしてやっていった先に答えがでてくると思う。</p>
<p>高齢者が日常生活を無理なく出来ることが必要と思いますが公共の費用を使う限りは費用対効果を検証することが絶対に必要。若者に大きな借金を残すことは絶対に避けなければならないと考えています。</p>
<p>この施策は現行法制下で居住の自由がある以上、難しいと思います。どうしてもという場合には十分な補償などが必要かと。</p>
<p>街と田舎の差が激しくなりそう。</p>
<p>内容が詳しく分からないので、またの機会にします。</p>
<p>近年のマンション建設ラッシュ(JR倉敷駅前)において、「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりは難しいのでは？</p>
<p>住まいから最寄りの駅やバス停まで、近いが、必要な所に行かない路線方向なので何にも成らない。住まいから最寄りの駅やバス停までが、近ければ良いというものでは無い。</p>
<p>住みやすくなりそう。</p>
<p>公共交通機関の周りに人を集めるのは良いと思うが、人が移動して空いた土地の整備はどうするのか、新しいアイデアが必要。</p>
<p>私は高齢者ですので、やはり病院が近くにあれば良いと思います。</p>
<p>公共交通機関が自宅より遠いので自家用車に頼りがちになる。住宅街の中まで食い込んで走る小型のバスが欲しい。住みにくいところに重点を置いてほしい。</p>
<p>あまり集約しすぎると田舎などが過疎化が進行しそう。</p>
<p>西日本豪雨罹災した時、このプランを実行して欲しかった。</p>
<p>利便性の高い区域は市内全域で見ると一部の限定的な区域でしか実現できないと思うし、既に公共交通の無くなった農村地域から見ると何の変化も影響もないので、市をあげて取り組む施策としては必要性を感じません。「モデル地域」として限定的に取り組めばよいと考えます。防災対策として、公共施設等の立地を改善するのであれば賛成です。</p>
<p>これから年齢を重ねて自分で車の運転が出来なくなると、近くに公共交通機関がないとすごく困ります。災害に強く暮らしやすい街になるととてもうれしいです。</p>
<p>鉄道駅中心以外にも、田舎での街づくりも考えてもらいたい。</p>
<p>郊外型の大規模商業施設の充実ばかりではなく、徒歩・自転車圏内で小売り店舗や病院があれば、高齢者でも暮らしやすい。しかしそうすると便利な街中の住宅地・建物は高価で手に入りにくい。ある程度距離はあっても交通機関の整備などで利便性向上をはかり、時間的な距離を縮めることが必要。また住民じたいも自家用車以外の手段で移動する工夫が必要になる。</p>
<p>住み慣れた所を移動したくない。人の心も大切では？</p>
<p>公共交通機関を充実させ、自家用車の比率を下げていくのが良いと思います。</p>
<p>有れば合ったで良いと思うが全員に適用できるものではないと思います。各個人色々な事情が有ると思います。政策自体は、賛成です。</p>
<p>市街地の住宅建設に規制がかかり、郊外の田畑が潰され、自然がなくなるのを防いでよかったと思う。</p>
<p>どの年齢層も住みよい町づくり。</p>
<p>まず、なぜカタカナ表記なのか疑問。すべてに満足できる環境は人を墮落させる。ある程度の不便が人には必要。その中で自分は何をしたらいいか考えるべき。作られた自然ではなく本当の自然のほうが安らぎがある。</p>
<p>新しい街づくりは、古いものを一度解体する必要があると思います。現存するものとの調和が難しいのではないですか？</p>
<p>「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちが完成するまでの寿命はなさそうです。公共交通機関も十分でない過疎地に今すぐの支援も考えていただきたい。免許を返納した後の生活はお先真っ暗です。</p>
<p>すべての人が平等で楽に暮らせるまちづくり。難しいと思いますが頑張ってください。</p>

このまちづくりが実現できるといいが、少子化が進み人口が減っている都市部以外ではなかなか難しいのではないかと思います。私自身退職をしたら交通事故防止のためと家計のコスト削減のため車には乗らないつもりなので身近なバスや水島臨海水島駅を利用していくつもりです。もっとバスや電車が使いやすくなれば私のような考えの人が増えてくるのではと思っています。
玉島などは、まちづくりの想定から外れているのではないかと想像する。田舎で困っている人がいることを知って欲しい。
交通の便の良い同一場所にて医療施設の提供(土地、建物を安価で賃貸)して専門医の開業(内科、外科、小児科、歯科、脳神経等)を促す。総合病院的な感じの・・・高齢化に対応した街づくりを願います。
若い人だけでなく、高齢者の方にとって必要なまちづくりの在り方だと思いました。
あまり生活に必要な施設を一か所に集中させると、渋滞や混雑、交通量の増加による事故などが増えそうある程度は分散しないと、まちなかだけ発展していき、過疎化が進みそう。だからと言って、今まで倉敷市に住んでる人が公共交通を進んで使う気がしない。やっぱり自家用車で移動の方が便利なので。
超高齢化社会の問題点の対応を具現化するための一つの社会実験がコンパクト・プラス・ネットワークの街づくりプランのようですが、空き家、相続放棄地、の街中での活用と休耕田、耕作放棄地などを行政と不動産会社やNPOそして農協が協力して利用したい企業や個人と結びつけながら街づくりをしていくシステムと法的整備が必要だと思います。
広域に開発されてきた都市計画、時代に則して再編する必要がある。
私の方も、だんだん、年を取り高齢者に近づくと、こういった、コンパクト・プラス・ネットワークの街づくりに関心が出てきました。
色んな考えの人がいるので難しいと思う。
過疎地に住む人たちも取り残されないようにしてほしいです。
過疎地化する人の対策要
加齢が進む程に便利な生活圏内での暮らしが望ましくこの街づくりを実現化してほしいと思う。
病気や災害時の突然の出来事にも備えられる街が安心して暮らせる
よろしくおねがいします。
積極的に推進して下さい!
移住するについて金銭的な説明が全く見えません。コンパクトシティの必要性は十分理解できますが、そこに多くの人を移住させるのは難しいのでは。(住むための金銭的な説明がないと全く実感がわきません)これから家を建てる人に最大限アプローチをして、20年、30年計画で考えないと。
人口減少、高齢化社会になっている中でインフラ補修にかかるお金はないため、人が集まって住むコンパクトシティになることは必然である。
今までの中山間地の過疎化を鑑みてもある程度の人口集約で市民サービスを厚くするのは賛成。
無駄のない計画を立てて下さい。見てくれだけの街づくりなら、このままの方がいいかもしれません。
調整区域の規制強化など、倉敷市の開発指導には疑問がある。誰が喜ぶのか、何のメリットがあるのか。国の政策と、倉敷市のような地方都市では実情が違う。倉敷市独自の策を考えていくべき。
どんどん年齢をかさねていくので、今は元気で動きやすくてもこれから先、年老いていく中で子供たちも自分の生活があるので、年老いても一人でも元気に動ける環境がほしいです
老後特に一人暮らしをするには車がなくても病院や役所等アクセスできるような環境は必要だと感じ、今の住居の決め手でもあります。交通の便がよければ自然豊かなところで暮らしたいですね。過疎化が進まないよう、田舎の特性も活かした町づくりで、皆がより豊かに暮らせるのが理想です。美作でしたか都会からの若い移住者が多く活気がありますね。個人的なことですが、暮らすには不便な田舎の土地をどうするか困っています。
老後、免許返納してからも、自分の力で買い物や病院に通える生活環境が必要と思う。転居はお金もかかるし難しいので、公共機関や街整備で、災害の心配もなく安心して住めるよう計画を進めてほしいです。
いろいろまとめて一見便利に見えるが実際住むとなると人が集まり過ぎて住みにくいと感じる。
持続可能な都市創りは、重要な観点になると期待します。誰にとっても住みやすく、親しみやすい街にすることを願います。
子供にも、高齢の方にも、障害を持たれている方にも優しいまちづくりが出来ることを願います。

今は何も心配ないですが、高齢になったときを考えると、コンパクト・プラス・ネットワークが理想的なので、ぜひまちづくりを進めてほしいですし、協力したいです。
いろいろな施設がまとまるのは大変便利で助かるが、いろいろな施設が集中している地域から離れた地域が過疎化するのではないのでしょうか？
年配の方と若い世代の方が上手く共存できる様な街づくりをして欲しい
近くは、すでにかなり形成されていると思うが、旧市街地を除くとそれに近い状態になっている。旧市街は、立地できないので難しい。また、自動車に乗れない条件では転居しかない。
公共サービス低減のためにも必要と思う。個人の思いに配慮しすぎると、税金だけで公共サービスを維持するのが不可能になるのでは？
名前が覚えにくいです…
引っ越しは難しいが、住宅地に大きな病院や大きな店舗等の誘致を倉敷市がしてくれると住宅地として住みやすくなると思います。まだまだ連島エリアなどバスさえ通っていない所が多いけど、高齢の方はたくさん住まれて【車】がないと困るご家庭もあると思います。早急に計画してほしいです。
「コンパクト・プラス・ネットワーク」の言葉自体、初めて聞きましたが、片仮名で、年配の方などには内容がイメージがしづらいかもしれませんね。
高齢化社会を迎えるにあたり必要な施策であると思うが、高齢者にとっては住み慣れた場所を離れることは非常に難しいことだと思う。また一極集中の街は便利かもしれないが、ゆとりのある街とは思わない。そのあたりのバランス取りが重要と思う。
高齢化社会のため早急に進めていく必要があるとは感じます。
コンパクト・プラス・ネットワークもよいが、今ある物も適切に維持して欲しい。例えば、歩道の草。
自動車がなくても生活に困らない街になってほしい
地域を超えて近隣市町村との連携が必要、倉敷だけに拘らず人の移動(利便性)を考慮する必要がある。(例として、早島区域の人たちが川崎医大病院や倉敷中央病院などに行く手段など)病院、スーパー、など特に生活に密着したインフラが利用し易い事が重要。
子育てが、落ち着く頃には同居の母の介護が始まるのでは？と思っているので周りの環境が整うと生活しやすくなると思います。
立地適正化計画に賛同いたします。
高齢化が進み、近くに病院やスーパーなど生活に必要なことが安心して行える環境を整えていくことは重要だと思う。自家用車を持たない若者にとっても、同様のことが言える。同時に不便な土地についても、その活用方等を検討していくべきだと思います。
今は年齢的に、自分で車の運転もでき、徒歩や自転車でもある程度の速さである程度の距離まで出かけられるが、高齢になったら徒歩で近距離までしか自力では行けないと思います。その時に、買い物、病院ほか、生活に必要なサービスを利用できる環境に住みたいと思います。
いいと思う点は、インフラの整備等がコンパクトで済むこと、すなわち老朽化のメンテナンスが迅速に行われる事が期待でき、災害時の二次災害防止にも繋がる。ぜひ早く実現してほしい。
今後の街づくりにおいて良い案であると思う。働く世代やファミリー層にとってはとても魅力的。ただ、過疎化や高齢化が進む地域の人々へのケアや対策は今以上に必要になるのではないかと思う。
初めて聞く言葉でした。これからますます高齢化社会になり、医療、福祉、商業が徒歩圏内にあると、高齢者にとって住みよい街になってほしいです。
倉敷地区は便利だが限界集落(特に児島地区と玉島地区)が置いてきぼりになりそう
将来的には車に乗れなくなるので、車がなくても暮らしやすいまちにしていきたいです。
私は町中以外に住んだ事はありません、何かと便利ですし、近くには酒津もあり、こんな環境を皆さんも与えて欲しいです。
祖父母や両親が高齢者でこの先も自由に移動できる環境があればいいなと思います。
詳しくはわからないが、興味はあるし、住んでいる街がこうなるならいいなと思う。

高齢化の進む中、公共交通機関の充実した路線造り、市民の健康と安全、自然に親しめる環境と利便性のある街造りを是非、実現させて行って欲しい。
量が多過ぎて、十分な理解ができなかった。
倉敷のありたい姿の計画ができました。問題は限られた予算・時間の中で、何から具体的な方策として実現していけるかだと考えます。実現しない計画では絵にかいた餅で終わってしまいます。私は5年前に倉敷に来た移住者で、倉敷への思い入れはあっても、街に魅力がなくなっていけば住み続ける理由もなくなります。今回の「まちづくり」計画を、時間軸を持つ具体的な個別の実行計画に落とし込み、進めていくのか期待しています。
高齢者が増えているので、車を運転しなくとも、買物や出かけられるしくみは必要とは思いますが、まちなかに集めることで、外側が急激に衰退して、これまでの暮らしよりも不便になったり、空き家が増えたり、バランスが崩れそうに思う。
高齢化社会になり動けなくなることが不安。計画通りには進められないと思うが、ある程度の街づくりは必要。
人口や商業、交通が密集し、便利なことも多いとは思いますが、よくないことも多いと思う。事故が増える、緊急車両の通行が滞る、せかせか急ぐ若者とゆったり老人との感覚の違いによる不快感など。
市街地調整区域の法令の関係なのか一気にマンション、アパート、新築戸建が増えているように思います。住む場所が増えるだけで公園や児童館は増えていないので、道路で騒ぐことによる騒音や車運転時に接触の危険を感じる人が多いです。コンパクトにするだけでなく公園などの公共施設の増設をお願いいたします。
今は車を運転してどこでも行けますが、将来運転できなくなった時には歩いて用事が済ませる、交通の便利な所に住むのを希望しています。「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを進めていただきたいと思います。
今よりも暮らしやすくなると思った
高齢者になり、自動車が使えなくなった時に経済的な負担が少ない形での移動手段の確保が必要だと思います。1人や家族の時間や空間を大事にしながらも地域や社会とのつながりが感じられ、いざというときに助け合える環境づくりができればよいと思います。
安全・安心・協同の自覚が必要
「まちなか」にまとまって立地し、多くの市民が徒歩や公共交通により、これらの施設にアクセスできるようなところに住みたいと思う
今住む住宅地には商業施設は、全然ありませんが結構に住めば都的ではなく、現実的に暮らしやすい住宅地であり、有志の方々がこの老いぼれらにも目を配ってくれますよ。
更に住みやすくなると思う
住人全ての人を思いやる都市へを望みます。また移住などを考える方へも魅力ある町へ。
居住誘導は費用対効果が薄いのではないのでしょうか。免許返納高齢者へのタクシー代補助が即効性高そうに思います。悪用防止が課題としても。
推進するのはいいが、「人が済まなくなった地域＝豊かな自然環境」となる努力が欠かせないと思うが、この点がどう計画に盛り込まれるのか、良く分からない。人が住む中心地域のみがよくなっても、周りが荒廃してしまえば、都市全体としての評価が低下すると思う。
自分も将来、自動車に乗らないことを考えると、住む場所は考えないといけなくなる。同じような立場に人は多くいるので街づくりは必要。
コンパクトは良いが、中心部が混雑し、遠隔地の空き家が問題になると思う。乗り合いタクシーも実際には活用が難しいので、インターネットでの買い物や診察がどの世帯でも利用できる体制が必要になると思います。
理想だと思うが、現実的には地域によって格差が広がるのではないか。
極論ではあるが、工業地、農業地、山林、商業地、住宅地というように区画して可能な限り住民や施設の集約を進める。人口が減って税収も減っていくのは避けられないので、学校や道路や水道等をこれまでと同じように維持していくのは無理がある。農林業や病院、学校、商業施設は、ある程度の規模があれば競争力もつき、また人手(教員)不足も解消されるのではないか。
親世代の家や土地が山間の不便な地域にあり、相続することになります。このようないらない土地や家を簡単に手放すことができるようにしてほしいです。
今回のアンケートで知って、読んでみました。高齢化率が上昇する中で必要なことだと思います。我々住民も社会の一員として、多少の制約があっても社会インフラの維持のために協力できるところは協力していかなくてはいけないと思いました。

人口減、自然災害増加を考えると、街をコンパクトにまとめておくことはとても重要だと思います。しかし、誘導区域から除外された地域は今後急激な過疎化が予想され、今後移り住む人は自己責任でしょうが、既に家を構えている人に対しては、ある程度の支援が必要。
難しいのでは、と思う。
街を集約させることのみならず注力するのではなく、今ある家屋や土地の再利用も考えるべき。耕作放棄地、空き家の包括的な管理、土地を手放したい人と土地が欲しい人との適正なマッチング、相続・税金に関する知識も市全体で周知が必要なのでは。縮小前提のまちづくりではなく、何より市を挙げて出生率の向上対策を講じるべき。
今住んでいるところに関して言えば、当初はバス停が近くにあったが、今は路線廃止になり、最寄り駅まで徒歩30分弱かかる。病院やスーパーマーケットは点在しており、利用しにくい。 現在はバイクや車で移動出来るので不自由さは感じられないが、高齢になり徒歩だけの手段になった時、生活するのに相応の不便さが予想される。住みやすい街くらしきを実現出来るよう、早急にまちづくりに取り組む必要があると思う。
本当に実現するなら期待します。
公共交通まで自宅から遠い場合はどうしたらよいですか、あっても日に数便だと不便で使えない。賑わいがあるまちを作ったらそこに人が集中して渋滞、空気汚染、周囲は過疎化しそう。
過ごしやすくなるのはいいけど居住を移動するのはハードルが高い
現住所周辺には徒歩や自転車でいける距離にめぼしい施設がなく、公共交通を利用しようにも30分以上歩く必要があるため、出退勤以外を目的に外出する意欲さえ無くなってしまった。したがって消費意欲もなくなり、生活そのものが楽しくない。施設の集約や公共交通の整備は市民の生活水準向上に必須であると思う。
誰もが暮らしやすい、安心、安全な地域環境はとても大切だと思います。災害にも強く、地域のつながりもあり、災害時に皆で助け合え、対処方法の確立ができ、それを周知徹底し、皆が行動できる街づくりが必要だとは思う。そして、子育ても安心してでき、環境も整え、地域ぐるみで子どもたちを育てていく環境も大切だと思う。子育てにはお金も必要なので助成をできるだけ行う必要があると思う。中学卒業まで医療費がかからないなど。
お年寄りに優しく、子育てに便利な街をお願いします。
生活の便利さ、安さも大事。
理想ではあるが現実問題どこまで変えていけるのか疑問
小学校区単位で色々揃ってれば生活しやすいと思います。今ある公共交通以外に地域で買い物、病院など循環してくれて、安く乗れるバスなどがあれば免許証返納も早く出来るようになるのではと思います。近隣市町村が出来て倉敷市が出来ない事は、ないと思います。早急な課題と思って取り組んでいただきたいです。よろしくお願いします。
倉敷市はコンパクト・プラス・ネットワークに適していると思います。
バスの便が悪くなってから老後が心配・・・近隣は暗すぎて夜道は怖い。そして、水害が怖い。でも、どうしたら良いのかは答えは出ない。出来ればこのまま住み続けたい。
中山間地にお住いの老人の既得権を認めないこと。ダブル投資になり どちらも成就しないと思います。
災害に強い街、公共交通機関の充実が必要です。人が増えないと街が発展しないので、人が集まる魅力のある街造りをお願いします。井原鉄道の利用増進や拡充をすることで、真備町の人口増をはかって下さい。
一年も経たず何故また同じアンケートをとるのでしょうか？何故中心へ先に施設を作ったのか？現在の車中心の生活では利用者は少ないはず。倉敷駅周辺の住宅数も変えられないので、徒歩、自転車でくる人数もさして増加はしないのでは？計画通りなら郊外に小さなまとまりを作る、または公共交通機関の充実が先では？コミュニティバスの増設は？倉敷駅周辺、平日閑散としている様ですね今のままでは無駄な支出と思えます。
10年後には運転免許証の返納を考慮するような年齢になるので、この構想が実践できているといいなと思います。
住みやすい街づくりには、必要と感じる。
年をとっても病院に通いやすかったり、買い物に行きやすかったりしてほしい。
今の住まいは自家用車が必須で公共の乗り物に乗る生活は難しいので、整備される計画があるのは有り難い。
子どもから、お年寄りまで安心して過ごして、生活に便利な場所作りや、コミュニケーションを気軽にとれる環境作りが大切だと思います。
コンパクトの中に、何が必要で入れるか、個々の生活を為すもので、大切でしょう。

<p>駅周辺に人口が集約することで公共的には効率的と思うが、自然に恵まれた静かな場所に住みたいと思う人も多いと思うので個人的には開発が無駄な投資になるケースも多いと考える。適正化計画の目標年次2040年を想定した場合、例えば自動車は自動運転、ドローンの多様化等の手段を取り入れても良いのでは？</p>
<p>一箇所に集約することは良いと思うが、そこに行くまでの手段を整備しなければ今とあまり変わらないと思う？</p>
<p>高齢化により通院、買い物等、移動に便利な街づくりが必要。</p>
<p>行政だけでなく民間の協力も不可欠だと思うので、官民一体でやっていただきたい</p>
<p>物理的な交通機関の整備を有効活用するために、住みやすく行ききのしやすい住環境づくりは、今後に向けて重要だと思います。一方で既存の地域コミュニティをオンラインのネットワークを活かして繋ぐことができるといいのにも思います。</p>
<p>もれる地域がないように、倉敷市でもへき地をまず重点的にやってもらいたい</p>
<p>あまり予算をかけないで。</p>
<p>性別や世代に関係なく安心して住みやすいまちづくりはいいと思います。整備が進み互いに助けあい支えあえることを希望します。</p>
<p>防災リスクが高い利便性が悪いとしても、今住んでいる人が住居を移すのは現実的ではないと思います。これから新居を構える方や今住んでいる家では不便になった高齢者の方にはいいかもしれないですが。</p>
<p>倉敷市は市域が広すぎる。各々の地区に思惑があり、拠点をどの地区にするか永遠に決まらないと思う。拠点を数地区に分けることも考えられるが、効率が悪すぎる。郊外周辺地域が不便だとなれば、自ずと便利な町中に人口は集中するのではないかと。「絵に描いた餅」で終わらないことを願う。</p>
<p>まちなかにまとまって、多くの市民が徒歩や交通機関で、とあるが結局得するのはその周りに住む「まちなかの人」だけで、そこから外れた田舎に住む人にとっては、行きにくい場所であり、行くのには億劫な場所となり得る。交通機関を充実させてと言うが、やはり高齢者は駅まで行くことさえ大変なことで、そういった田舎の交通手段を考えてからのことではないかと思われる。「まちなかの人」だけ得をするのでは意味のない事業だと思う。</p>
<p>この計画は高齢者にとっては利便性が良くなっていいと思うが、実際には高齢者は現在の住居にとどまる人が多く、実現しても機能を果たせないと思う。計画を進めるにあたって、郊外の高齢者の利用方法を具体的な例が必要と思う。若い世代にとっては、誘導区域外の利便性や、治安の維持の不安があり、格差が今より広がる可能性があると思う。補助金として税金を投入しても無駄にならないかと思う。</p>
<p>老若男女住みやすいようにしてほしい。</p>
<p>高齢者の方が自分で運転しなくてもバスで1人で行ける、ということはすごく良いと思う。しかし、金銭面で実際にできるようになるのかな？と思う。高齢者や子持ちはタクシー料金をバス並みにするなど、すぐに実践できそうなことを始めてほしい。</p>
<p>年齢があがり自動車免許を返納したあとの移動手段が、選択肢のある充実したものになれば良いなと思っていたので、この「まちづくり」は非常に興味があり、実現して欲しいと思いました。</p>
<p>公共交通について</p>
<p>自動運転の電動タクシーの実現を急ぐ。スマートフォンで送迎から決済までできれば、自家用車は必要なくなる。電動なら燃料代もそれほどかからないし、運転手も不要になる。とにかく実証実験をやってみて、街づくりの方向性を決めるべき。</p>
<p>公共交通のアンケートでも様々な意見や要望、課題が提起されていましたが、公共交通の充実なくしてこの計画はありえない。部局横断で課題を共有し、対応を考えてください。児島地区の都市機能誘導地域内には、複数のパチンコ店に今度は大きな電気販売店が三つも整備されます。民間の市場原理で致し方ないのかもしれませんが、市民生活に必要な施設の誘致をお願いします。</p>
<p>倉敷市に長く住みたいと思っているので、子供やお年寄りも住みやすいまちづくりを希望します。特に高齢者になった時に自動車を運転することができなくなった時に、子供や孫に頼らずとも、生活が守られるよう、乗り合いタクシーや、交通網の整備をお願いしたいです。</p>
<p>自動(無人)運転技術が現実的となっている中、そうしたハイテクを活用し、人々の居住に対する価値観が優先される公共交通の実現を目指すべき。コンパクトシティも進めながら、郊外居住者の利便性を向上してもらいたい。</p>

<p>高齢者が施設など利用しやすいようにと考えられた事かもしれませんが、本当に困る高齢者は50メートル先に出かけるのも大変。貴重な自然や農地や住み慣れた環境を潰し改造してもお金と労力の無駄。既存の施設を利用しやすいようにコミュニティタクシーのような手段を作る方が助かる。「とくし丸」など流行る所以。</p>
<p>若い頃から現在までの数十年間で、公共交通機関が利用されずに減便され、更に利用されなくなり…という悪循環を体感してきています。標記のプランは長期の計画となり、具体的なイメージはまだつかめませんが、子や孫の世代が住みよく暮らしやすい環境を作るためにもぜひ検討いただき、また、協力していきたいと考えます。自身が医療機関に勤務することから、地域包括ケアなどの構想ともどのように関連してくるのか興味があります。</p>
<p>最寄りのバス停まで遠い。近いところにバス停が欲しい。</p>
<p>バスの本数を増やし、運賃も安くすることで、利便性を高めるべき。そのためには、赤字路線に対しては税金で支援するべきだと思う。</p>
<p>普通のバスだと狭い道には入れないし、乗降も大変なので、小回りがきくコンパクトな乗り物で、病院、商業施設等に運んでほしい。市とバス・タクシー会社と連携して、時間も回数も一日数回くらい循環してもらいたい。バス停以外のところでも乗れるようにしてもらえるとなおよい。また、買い物に行けない場合は、商品の配達などしてもらえるといいかな。</p>
<p>交通機関が一番身近だとバスが主になりますがバス停の場所、便数や時間帯などが不便だと、自家用車を使うようになってしまうのではと思います。</p>
<p>今の生活環境状態がコンパクト・にあてはまるので移転は考えられない 高齢者は公共機関は使えない タクシー補助金を増やしてほしい</p>
<p>庄地区に早島のような巡回バス？のようなものがあれば便利</p>
<p>今住んでいる所から離れるのは不安。住んでいる所は交通の便が悪いので免許返納できない、老夫婦での生活も不安。</p>
<p>今はまだ自分で運転して行きたい所に行けるが、やがて免許を返納した際に、コミュニティタクシーやバスなど気軽に安価に利用できる公共交通が整備されている町が理想的であると考えます。</p>
<p>駅から離れたところに住むには交通手段が必要。定期的でなくても必要な時に近くまで来てくれるマイクロバスのようなものがあるといい。</p>
<p>限界集落という言葉もあるが、市内であっても公共交通機関が利用しにくい(または無い)や、自家用車の有無や運転の可否により、それに近い問題が顕著になっている。地方は特に人口減少問題もあるため、とても必要なことになると感じる。</p>
<p>80歳をすぎたので ボツボツ 運転免許証を返納しなければと考えていますが、買い物、病院などに行く手段を考えると、現状では、積極的に返納する気にならない。でも最近の車の事故を起こした人の年齢を見ると70歳を過ぎた人が多いので気になります。市が大型の車など準備しバス停をある程度細かく決め定期的に走らすなどすれば助かる。</p>
<p>便利な公共交通の充実</p>
<p>交通インフラの整備が必須</p>
<p>早島町のようなコミュニティバスを利用できたりすると便利だと思います。早島町は教育にも力を入れて住みやすい町のモデルだと思います。早島町羨ましい！</p>
<p>我が家は倉敷駅まで徒歩15分の便利のいい場所にあり、普段の生活は自転車や徒歩で十分間に合います。しかし、現在病気治療中で車の運転も自転車も控えているので、駅の反対側にある病院まで行く時、タクシーを使います。私は病気で治療ですが、介護保険サービスを受けるほどではないが、自力の移動が大変な方には、タクシーが便利に使えたらいいのではないかと思います。</p>
<p>住みやすい環境であることが大切なので公共交通の廃止ばかりしないようお願いします</p>
<p>以前住んで東京はバスの回数が多く郊外でも便利だった。倉敷市はバスの回数が少なく不便。</p>
<p>昔は地下鉄沿線に住んでいて、車を所有しない生活をしていました。岡山では自家用車での移動が主ですが、ゆくゆく免許を返納するつもりでいます。バスの本数が少なく、今住んでいるところでは生活(移動)が難しくなるのは目に見えているので、子供が自立したら引っ越しを検討しています。交通面の不便さが解決するなら、住心地は悪くない土地だと感じています。</p>
<p>そもそも倉敷市はバスが不便。</p>
<p>免許返納後、巡回バスなどがあるね。</p>

<p>だんだん年をとると車の運転が不安になったりするので、歩いてや、公共交通機関がしっかりとあるといいなと思います。需要の少ない時間に、バスや臨海鉄道の本数が少ないので、少し不便には感じています。でも経営の関係で仕方ないのかな、赤字になって、なくなってしまっは困るので、これ以上減らないことを願います。</p>
<p>いつまでも自家用車に頼れないので、公共交通機関が便利に使える街に住みたいです。</p>
<p>大通りにバス停の数を増やして欲しい。ポストも少ない。</p>
<p>高齢者が多く、無理に免許証を維持せずとも、暮らせる、交通機関に力を入れて欲しい！</p>
<p>高齢者が自分で運転しなくても安全に地域を移動できるよう整備して欲しい。虚弱化の予防、自立支援にも必要である。</p>
<p>歳をとって自動車免許証を返納すると、たちまち通院や買い物に不便になるので、コミュニティーバスなどを出してほしい。</p>
<p>西中新田から倉敷中央病院に潰瘍性大腸炎で徒歩で通院している。国民年金支給額月六万四千くらいでお金がない。タクシーチケットはもらってます。でも足りない。バスの無料の日があります。いつも無料にしてもらいたい。東京に住んでいたとき私は精神障害2級なので都営地下鉄都営バスの無料バスがもらえた。大いに助かった。</p>
<p>防災まちづくり・災害について</p>
<p>災害の少ない街だが、起こってからでは遅い</p>
<p>・気候変動による災害が増え、いろんな所で小規模ながらも斜面崩壊してブルーシートで覆っているのを見ると、我が家の被害は無かったが今後はまちなか暮らしがいいのか、色々考えてしまう。・市内中心部は歩き、車椅子、自転車、公共交通の人を中心としたまちづくりを期待する。・むやみに山を開発せず、まちなかの空き家等の活用を期待する。・ライフステージ、ライフスタイルにあった選択肢が出来るようになるといい。</p>
<p>周りに川はなかったので今のところに家を構えましたが、真備以来ハザードマップを初めて見、安全でないと知りました。明らかに災害に弱いところへ災害のたびにお金をかけて直すより、災害に強い場所に引っ越す方にお金をかけるべきだと考えます。売れるからとうちの周りもどんどん田んぼをつぶし住宅地へと変わっていついていますが、食料問題もしかりどうなのかなと疑問です。</p>
<p>合理的であるかもしれないけれど、完璧では無いので 大きな災害に繋がる危険もあると思う。長い年月の間に 昔から危険と言われていた場所に家を建てたりする事のないよう行政の管理も宜しく願っています。私が住んでる所も元は埋め立て地の為 土地が低く水害が心配では有ります。生まれ育った地を移転など今さら考えられないです。コンパクト…の実現はこれから先の人を対象…と言うことでしょうか？</p>
<p>ハザードマップがあっても、歩く範囲に避難場所がないのに、コンパクト...と言われても、</p>
<p>夫が仕事上の事故で障がい者になったため、仕方なく実家をリフォームして住んでいますが、郊外で高梁川沿いという立地に不便な思いと災害の不安を感じています。障がいのある人にも便利なまちづくりを進めていただけると嬉しいです。</p>
<p>PDFの資料はなぜかダウンロードできなかつたため確認できませんでしたが、画像からイメージすると、災害に強いまちづくりには興味があります。自分の家がある場所で、末永く安全に暮らせることができれば理想だと思いますので、まち全体が災害対策にしっかり取り組んでいけたらと思います。</p>
<p>災害の危険性が明らかな場所からお金を渡してでも住民を移動させた方が良い。再建したり補修する方がお金がかかるし、命を落とす人がいる。そんなところには住まないのが一番。</p>
<p>正しく真備の高齢者にすぐにでも手を差し伸べてほしいと思えました。災害で車を失い、それを機に免許も車も手放し、環境も変わってしまい外出しづらくなり引きこもりとなった人、特に高齢者。手を差し伸べて欲しいものの、利便性悪い巡回タクシー。その中でも憩いの場であるはず高齢者施設まきび荘は、若者でも心臓破りな施設前の急な坂道。自転車や歩きでは強者しかいけない、基本自分で車がないと行けない。皆さん嘆いています</p>
<p>西日本災害のせいで倉敷のイメージが低下している。小田川の河川工事も進み、逆にいえばコンパクト・プラス・ネットワークは災害に強い住みやすい街をアピールする良い機会でもあると思うので、応援したい。</p>
<p>地域密着型で災害にも強くなるのは、凄いい事だと思う。県外からきた私からすると、周りに知り合いもおらず、母子家庭でありながら市は何かある時にしか電話をして来ない。事件が起きてからじゃ遅いんですよ。保健師さんは担当があるにも関わらず、一切、連絡もくれない。これではコンパクト、プラス、ネットワークまちづくりの前に孤独死が増えると思う。もっと未来型の地域づくりも大事だと思う。人との繋がりが倉敷は冷たい</p>

公共施設(施設,公園,道路等)整備,景観・都市環境について

倉敷市は倉敷、児島、水島、玉島、船穂、真備の集落が、特段の歴史的理由はなく地方行政等の音頭取りで合併吸収の結果寄せ集めの市ですから元々全貌を見渡したまちづくりは為されてこなかった。この度の構想は40年ほど前から私は聞いてきました。この度のまちなかのイメージは以前と異なりさらに小規模の人口密集地に焦点を絞っているのので、高齢者で心身衰える人たちをさらに生活しづらくします。そして倉敷の道路は劣悪。

住み良い町づくり多いに期待しています。以下提案。1.水島地区と倉敷駅には臨海鉄道があるが当水島駅周りをもっと都市化をすべき。2.人間関係の活性化に向けて市中公園にはラジオ体操の放送などが出来る設備の設置補助を。また、公園美化(特に樹木管理)に更なる予算を。

倉敷駅南側の再整備(道路の拡幅など)。倉敷市民会館の移設。アリーナのある大きな体育館(例、大阪城ホールや神戸の昔のワールド記念ホールなど。)、中庄の市営球場のドーム化。四十瀬の体育施設の再整備(アリーナ等)。コストコの誘致。倉敷中央病院周辺の再整備。倉敷警察署や労基がある辺りの道路の拡幅。倉敷駅の高架化はあきらめてもいい。

渋滞の解消も考慮した街づくりにして欲しい。

壮年、老年となると、ますます身近なところで全て賄えることが有り難く感じると思う。転居は現実的ではないが、自分の事が自分で出来なくなると今まで通りの生活は無理かとも思う。下水道の整備も早く進めてほしい。

渋滞が少なく、事故が起きにくい街だと思いたい

倉敷はかなり整備されていると思う

拠点地域と大型団地は少し離れているので、マンションがあっても移住は倉敷市は難しいと思う。もう少し、拠点地域が魅力ある美しいまちなみなら若い世代なら住むと思うが、現状では工場地帯への通勤が主であるため、道路整備は必要だと思う。

道路を車と歩道に分けているのが一般的ですが、歩道を歩く人、自転車の人に分けてある所もありますよね。そこは、より安心して歩けるなと思っています。車椅子や手押し車で外出する老人も、それがガタガタせずにゆったりと移動できるように、平らで幅広い歩道に改善してほしいです。例えば、倉商前の歩道ですが、倉商側の歩道の方が広くて道も平らなのです。だから、手押し車利用の母は、そちら側だけ歩いています。

現在街中(中心部)に図書館があり大変便利だが、今後市役所近辺に移動すると聞き、通うのに交通手段が限られ、今の時代から逆行していると感じています。中央図書館は、駅近く、中心部に位置して欲しいです。

下水道の整備がされないのではないかと思います。バスも数年前に廃止されコミュニティバスもない。既に持ち家なので年を取ると転居するしかない。

今住んでいる場所は、駅からもほどほどに近く、調整区域のため、田んぼや畑などの自然もあり、季節を感じる事ができる穏やかな場所で、気に入っています。ただ、都市ガスや下水道などのインフラ整備はお願いしたいです。

酒津公園にブランコが少ないので、もっと沢山ブランコを設置して欲しいです。

物価上昇や高齢者の増加等、自家用車の所有が困難になっており1か所に集中することはいいと思う。また、人目があることで安全につながると思う。今の倉敷市は街灯が少なかったり、人気が無かったりで暗く、不安を感じる場所が多い。

倉敷駅周辺に子どもが安心して遊べる場所が少なすぎる。公園の遊具等も老朽化し、野良猫のフンやタバコの吸い殻が落ちていて安心して幼児を遊ばせられない。改善してほしい。室内で幼児を遊ばせる場所として、あちてらすスポット奥に、柵で囲まれた幼児の遊具コーナーを作してほしい。現在は、学生の勉強部屋になってしまっていて、子ども連れは入ってくるなという雰囲気。アリオのスタイルを見習ってほしい。

通行しやすい道路ネットワークの整備が必要。無電柱化による災害時に緊急車両が通行しやすい道路の整備が必要。倉敷駅周辺の老朽化建物を再開発等による整備が必要。倉敷駅周辺の連続立体高架事業の早期実現が必要。

空家・土地の利活用・維持管理等について

持ち主がいなくて荒れている空き家を減らし、土地を有効活用できたらベスト。

増え続ける空き家を有効に利用できる条例を作って欲しい。朽ちた空き家の解体と更地にしやすい条例を作って欲しい。

現在は、車を運転できるので、移転は考えていませんが、運転できなくなると施設などを考えていますから、病院や買い物できるところが徒歩圏内であれば、住んでみたいが、現在の家が、邪魔になります。家の活用方法を考えていただきたい。

今ある空き家や土地、公共交通機関を有効に活用できたらいいと思う。田んぼや畑などのある風景を残す手立てがあればいいと思う。
倉敷市はもっと大きな都市構想を目指してほしい。都市計画法が邪魔をして大規模開発が出来ないから道幅の狭い少戸数の宅地造成があちこちに出来ている。もっと大きな視点で児島水島玉島真備中庄から茶屋町と連携して倉敷市を大きく成長できる街づくりをして欲しい。古い街並みや古いコンビナートにしがみついていると先が見えない。新しくしていけば人が集まり活気ある街が作れるし税金も増えると街づくり。
ひとり暮らしの高齢者の介護施設などに入所後の自宅の管理等、例えば光熱費等の維持費や解約手続き、保管から売却へのスムーズな移行などが出来るといい。
栄駅・常盤駅周辺区域に、空き家・空き店舗・老朽空ビル等見受けられる。総合的な都市開発は難しいと思われませんが、危険と思われる老朽ビルも目につきます。ビル所有者独自での対応は永遠に難しい気もします行政が介入しやすくすることから始めることが必要と感じていると思われ、なんとかなるのでしょうか？勝手な意見で！
現実には難しいと思います。地区・町内が無くなる危険があり、また、その不動産はどうなるのか？
まとめる事も必要だが、そこにあるから魅力的な事がある。人が多く集まる過ぎるのも好きではない。大切なのは、今住んでるトコを魅力的にする事。行政は、空き家を増やす事をするのではなく、空き家を活用する方法を模索して欲しい。
住む人の目線になることが一番。例えば通りすがりに「ここ不便そうだな」とかたまたま行った場所が「もっとこうすれば…」ではなくて、実際に借り上げなどして住んでみて、より地域に寄り添ったニーズに応えることが必要かと。
空き家をなくしていきたい。
海、山、緑、おいしい空気など、自然に恵まれている。ただし、年々、子どもを中心に人口が減り、高齢のボクたちは諦めるとしても、とても残念です。10年前か20年前に、町内会を中心に、行政や議員の皆さんにお願いをして、都市計画、都市開発などが計画されていれば、どれほど魅力的な住宅地が生まれただろうか。草ぼうぼうの空き地に、空き家。もう、手遅れなんでしょうね、とても残念です。
高齢化社会になり、近所の人が少ない不安ですが、空き家を活用することでコミュニケーションを高めれば生き生き暮らせると思う
中心部の活性化・空家対策は、強引に実行または補助等をしないと不可能かと思えます。
その他
河川水の汚染が激しい地区はすべて市街区域に編入すべき
岡山市の1キロスクエア構想や路面電車の駅への乗り入れなどに魅力を感じ、転居しようと考えている。優れたインフラを持ちながら、住みやすさであれば、岡山市以上の施策を打ち出せないところに、倉敷市の限界ややる気なさを感じている。伊東市長のいろんな計画を見てきてきたが、あまり成果を感じれないのが、残念。
適正な価格で住める住居があれば移住したい。
家にこもらず、出歩き楽しい時間を過ごしたいです。
平均的な町づくりを心がけてください。現在においては駅北部中心に開発している感がある。
特にない。私は自分が老化した時を考え倉敷に移住してきた。おおむね成功と考えているが、身体がもっと不自由になったら困るな…とは思っている。
子供医療費無料化など優先順位をよく考えて税金を投入すべき。すでに倉敷市は劣勢となっている。
秒で行ける距離にバス停はあるが本数も少なく時間も読めず今は利用していない。車が運転できない年齢になったら街中での暮らしが便利なのかなと思うし、いっそ県外に出ようかともぼんやり考えるようになった。
無駄に税金をつぎ込むよりも、農業振興地域指定を解除するよう働きかけたほうが良い。特に山陽本線、瀬戸大橋線沿線地域。
データとか紙とかで確認しても自分が実際に住んでみないとわからないことが多いと思います。
自治会等にも意見を求める。
とにかく、子どもが安全に住める環境を整えて欲しい
倉敷市の広報に情報を載せてほしいです。また、ツイッターにも情報を載せてもらえると見やすいと思います。